

Heart warming



令和2年6月11日（木）

いじめ対策通信 第2号

いじめ対策監：浦崎伸太郎

自分の気持ちではなく、相手の気持ち大切です。

毎月3日は、「いじめ0の日」です。なぜなら、岐阜市内の「いじめ自殺事案」が起きた、『月命日』だからです。放送でも話した通り、「いじめ0の日」は、いじめ防止に向けての様々な活動を考えています。その第1回にあたる6月3日（水）、全校放送で、校長先生から「いじめ講話」をしていただきました。みなさんの感想や意見を紹介します。

- 「遊び半分で言った言葉でもいじめになる」ということが分かりました。いじめた人は後悔するし、いじめられた人もいつまで経っても悲しむことになると思います。 **1年女子**
- 校長先生の話聴いて、人が嫌がること（暴力や悪口）は絶対にやめようと思いました。自殺してしまったら、**その子の将来や夢を奪ってしまうことになるから、「絶対にいじめはいけない」**と思いました。もし、僕がいじめを受けたら、すぐに先生に言おうと思います。 **1年男子**
- 校長先生の話聴いて、思ったことがあります。それは、いじめられた女の子がかわいそうだったことです。「クラスの仲間には、絶対にこんな思いをしてほしくない」と思いました。私は、クラスのいろんな子に声をかけていきます。クラスの子たちには、学校が楽しくなるようになってもらいたいです。 **1年女子**
- 「人が傷つくような行動はしない」と思いました。「そのような行動は、最終的に、相手だけでなく自分も傷つくのだ」ということが分かったからです。**自分の気持ちではなく、相手の気持ち大切です。**常に自分以外の視点に立って、相手を思いやった行動をしていきたいと思いました。 **2年女子**
- 小学校の時に、その子がいなくて、こそこそ悪口を言ってしまったことがありました。今は、「もうあんなことはしない」と思っています。いじめられていた子がどんな気持ちだったかを考えずに、一緒になってやっていたことを、とても後悔しています。 **2年女子**
- いじめられた人はもちろん傷つくけれど、いじめた人も後悔が残るので、いじめは、決してやってはいけないことだと思います。私は「見て見ぬふりをする人」や「周りに流される人」になんたくないです。 **2年女子**
- 「**いじめた人にいじめた実感が残らないいじめ**」・・・、**これってとても怖いことだと思います。**自分が「傷つけていない」と思っている、相手は傷ついている可能性がある、気を付けていきたいです。 **2年女子**
- いじめられた人は悲しむし、いじめた人も罪が一生残るし**・・・、いじめにいいことなんて、一つもありません！！ **3年男子**
- 「言葉は人を殺せる」という言葉を聞いたことがあります。それくらい、**「言葉って重い」と思います。**人が死んでからでは、取り返しがつかないから、そうなる前に絶対にやらないし、みつけたら全力で止めたいと思います。 **3年女子**
- 「いじめはいけないこと」・・・これは私が小学校の時から毎年聞いてきた言葉で、私自身、理解もしています。でも、自分が傷つけようと思っていなくても、相手が傷ついてしまうことがあります。だから、相手の気持ちを考えながら行動していかないといけないと思います。 **3年女子**

今回の講話で、みなさんが気付いた値打ちや価値・・・、それは

- 1 **どんな理由があろうとも、いじめは絶対に許されない行為であること**
- 2 **いじめは、いじめられた人だけではなく、いじめた人も傷つけてしまうものであること**
- 3 **相手が嫌だと受け取れば、それはいじめになるということ**

ではないでしょうか。その中でも、みなさんの現状を顧みたら、最もポイントとなるのは、3つ目の価値（青字の部分）ではないでしょうか。今後改めて、時間をとって考えていきたいと思っております。